

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



156号
2014年2月17日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 最高限度高度地区と 最小敷地面積の問題 訂正された第2案の検討

第1案では常盤台駅前を池袋並の一番高い高さとする非常識な案で驚きました。反対の署名にご協力くださった皆さん、有難うございました。

お陰で区は東京都の景観重点地区である常盤台だけは1次案より緩和ではなく強化の方針で第2案を出してきました。それでも現行のしゃれ街協議会が運用している常盤台景観ガイドラインの数値よりはるかに低いものです。

区の広報にもありますが、この第2案に関する説明会があります。

3月26日(水)午後7時～8時半
常盤台地域センター(科学技術館裏)

今後の常盤台の町並みに大きく影響する問題です。なるべく大勢が参加して、自由に意見を述べましょう。

○ バザー開催のお知らせ — 場所と日にち変更 —

9日(日)に行う予定だったバザーは、大雪の影響で以下のように変更しました。

日時 3月16日(日) 10時～

場所 工藤家のガレージ

(常盤台小学校正門の前)

8、9日に雪の中、バザーに出す品物をお届けくださった方々、有難うございました。収益は守る会の運営費や公園の花作りの会への援助に当てています。

今回場所を提供して下さる工藤家のガレージでは、以前有機野菜の販売に協力されていたこともあり、おなじみの人もいます。

手作りマーマレードもありますので、お買い上げをお待ちしています。

当日品物を提供下さる場合は10時までをお願いします。

鈴木博之さん逝去

「常盤台の景観を守る会 常盤台まちづくり委員会」代表を永年務められた鈴木博之さんが、二月三日に肺炎で亡くなった。六十八歳といえはこの頃では若死にで、惜しまれてならない。東京大学大学院教授とか明治村館長とか東京駅復原役とか、重々しい肩書きは今更ここに述べる必要はないだろう。

現在の日本では現況を批判すればかえって損な役割を荷うようなこの市民運動の代表を何年も引き受けてくださったのは、私利私欲にこだわらない一流の人だからだと思う。

タカラレーベンのモデルルームの前で反対のティッシュを皆で交代で配った時、鈴木さんだけは堂々と向こうの敷地内に入って配るので、実際にパトカーを呼ばれてしまったのも懐かしい思い出となってしまった。

鈴木さんはいつも謙虚で穏やかだった。少しも偉ぶる所がなく、ゴミ出しや垣根の手入れなどするのは日常の姿だった。女性に対しても差別する気持ちが全く無かった。一流の人は違うのだとつくづく思う。

数年前から肺の手術を受けられ「タバコを吸ったのは若い頃だったんですが」と怪訝そうだった。体調を崩され代表も降りられたが、「まちづくりニュース」にはいずれ寄稿してくださいと予定だった。

今、常盤台にまた新たな局面が生じているというのに、真に正しい方向を教えてください人がいなくなってしまう気がする。

告別式 三月二十四日(月) 一時、四谷 東長寺
喪主 妻 杜幾子さん 葬儀委員長 安藤忠雄さん

認知症と踏切事故

毎日新聞（一月一二日）によると認知症の人の徘徊などによる踏切事故は八年間で一四九件あり、そのうち死亡者は一一五人、遺族に請求される賠償額も馬鹿にならないそうです。

実際認知症やそれに近い状態の人を二四時間見張っていることは不可能なですから、軌道内に間違っ入り込み、事故にあう危険性は鷹いということですよ。

高齢化が進んできたこの社会では、いずれは自らの問題として踏み切り事故のことを考えていかねばならないと思います。良い解決は？

俺々サギ 続々篇

以前紹介したIさんの友人のケースです。

仮にAさんとしておきましょう。Aさんの息子さんは、最近増えている単身者で、全く結婚する意志がなく、早く普通に孫の顔を見たいと思っているAさんは、息子にガールフレンドでも出来ればよい、といつも念じているのでした。

ある日、その息子さん（と称する人間）から「お母さん、おれ女の人を妊娠させちゃったんだよ」という電話が来ました。Aさんは勿論びっくりしましたが、普段から心配していたことだったの、「あらー良かったじゃない？」と思わず明るい声で答えたところ、向こうは呆れたのか直ぐに切ってしまったとか。黙って聞いていればきつと手術代とか慰謝料とか入用だからとだましましたのではありません。

雪かき奮闘記

二月八日、雪景色はきれいでしたが積雪は困り者。常盤台の人たちも道の雪かきに苦勞していました。やっと苦行が終わったと思ったら、翌週の一四〜一五日も大雪です。

穴の開いた長靴を引っ張り出し（売り切れでした）、ご近所に雪かきシャベルを借りて、後期高齢者なのにとぼやきながら、ぎっくり腰にならぬよう、そろそろと雪かきをしていました。そこへ赤い消防自動車が出てきて、三、四人の屈強な若者が手に手に大きなシャベルを持って降りてきたのです。援軍到来！消防署もやるではないか！と思ったらさにあらず。消火栓の点検をしているんです、と言いつつ、済まなそうな顔で行ってしまいました。

消火栓の点検が終わってからも良いので、道路の雪かきをしてけると、消防隊のカブが上がると思えますが・・・

駅の方に買い物に行ったら、お店の前はさすがにきれいにしてありました。チェーン店や駐車場の所はひどい状態でした。大きい通りでは雪まじりの水の中をどう越えようかと、皆困っていました。駅の人も、だれも通行人のために動く人はいないようです。

お年寄りが増え、人にもよりますが、共同住宅住まいで雪かきなど無関心な人たちが増えているのですから、秋の落ち葉掃きと冬の雪かきについては、街ぐるみで対策を考えなくてはいいけないと思います。

良い住宅地と言われるためにも、是非取り組んでほしい問題です。

常盤台公園のはなづくり

和水仙はもうとつと咲き出しました。角の花壇でもクリスマス・ローズがいつものように蕾をもたげています。

躑躅はあちこちで開花を聞きますが、公園の木は遅咲きのようで、去年の黒い実がぶらさがったままです。

Tさんはしきりに芝生の張替えをしています。Tさんはしきりに芝生の張替えをしています。Tさんはしきりに芝生の張替えをしています。Tさんはしきりに芝生の張替えをしています。

常盤台小学校の校庭は人工芝になりましたが、具合はどうなのでしょう。ある先生の話では、怪我が格段に減ったというのですが、なんだか馴染めない気がしてなりません。かといって本物の芝にするのと雑草抜きの手入れが大変ということも聞き及んでいます。

公園には一般の家では植えられない大樹があつてほしいのですが、すると草花や芝生には日の当たる場所がなくなる、という矛盾があるのです。どちらも満足させるにはかなり広い敷地と上手な設計が必要なのではないでしょうか。

二度目の雪の朝、公園では緑の旗を持ち、リュックを背負った二十名ほどの人たちが終結、体操の後、町へ繰り出して行きました。旗には「東松山歩こう会」と書いてありました。雪の常盤台をどう見られたか、感想を聞いてみたいものです。